



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 畑中 格 TEL 03-6380-7490
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	138	16.0	△664	—	△669	—	△679	—
2023年12月期第3四半期	119	35.2	△576	—	△586	—	△584	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△20.58	—
2023年12月期第3四半期	△20.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,615	2,335	88.9
2023年12月期	2,465	2,164	86.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,324百万円 2023年12月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170	△10.5	△920	—	△920	—	△940	—	△27.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	34,656,419株	2023年12月期	31,459,019株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	156株	2023年12月期	156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	33,016,446株	2023年12月期3Q	27,906,531株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら長期化するウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化などの地政学的リスクを背景とした資源・原材料価格の高止まり、世界経済の減速懸念等により、わが国経済の先行きについても、景気減速のリスクが懸念され、先行き不透明な状況が継続しています。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は138,236千円（前年同四半期比19,033千円の増加）、営業損失は664,445千円（前年同四半期比87,446千円の増加）、経常損失は669,867千円（前年同四半期比82,871千円の増加）、四半期純損失は679,446千円（前年同四半期比94,936千円の増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業（細胞培養器材、製造受託など）

細胞培養器材事業では、当第3四半期累計期間中に参加した5件の学会展示会のうち2学会において、ポスター発表により製品の優位性を報告しました。更には2件の学会要旨集への広告掲載など、器材製品の積極的な販売促進活動に取り組んだ結果、既存製品の販売が堅調に推移し、売上高は前年対比で増加しました。今後も、既存製品の拡販に向けた活動を強化、継続するとともに、市場動向に合致した新製品の開発のための研究開発に注力し、新規顧客の獲得による売上拡大の実現に努めてまいります。

当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、成育医療研究センターより小児食道シート、東海大学より先進医療にかかる自己軟骨細胞シートの製造を受託し、2症例の売上を計上しました。引き続き他の医療機関からの受託案件の獲得にも注力して参ります。

以上のような活動の結果、売上高は137,018千円（前年同四半期比25,615千円の増加）、営業損失は16,532千円（前年同四半期比19,865千円の減少）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートの再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

同種軟骨細胞シートは、2023年9月20日に、同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の第3相試験の治験届をPMDAに提出し、PMDAによる治験届の30日調査が終了しました。治験審査委員会（IRB）を経て、各治験実施施設との契約を締結し各治験実施施設において手術を行える体制を整えてきました。

現在は、今後の治験の進展に応じたマイルストンの支払金額について東海大学と引き続き交渉を行っており、「同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の治験開始時期に関するお知らせ」を公表した2024年9月25日時点よりも双方が想定している支払金額の乖離幅は縮小しているものの、当社が想定している適正な金額に対してはまだ乖離があります。治験の開始には、今後も東海大学医学部医学科整形外科の佐藤正人教授のご協力が必要であるため、1日でも早く合意に至るよう交渉を継続して参ります。

事業提携活動につきましては、事業化の加速、また将来の同種軟骨細胞シートの販売に向けて、引き続き複数の会社との事業提携及び共同研究契約の締結に向けた活動を積極的に行っております。なお、2023年12月に公表のとおり、独占的事業提携契約を締結しておりました「三顧股份有限公司（MetaTech（AP） Inc.）」と契約関係を解消しましたが、今後も、引き続き新規の提携契約を獲得できるように努めてまいります。

以上のような活動の結果、売上高は1,217千円（前年同四半期比6,582千円の減少）、営業損失は471,055千円（前年同四半期比77,336千円の増加）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて143,382千円増加し、2,495,194千円となりました。これは、現金及び預金が179,395千円増加したことなどによります。

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて6,594千円増加し、120,551千円となりました。これは、投資その他の資産が6,594千円増加したことによります。

この結果、当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて149,977千円増加し、2,615,745千円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて14,543千円減少し、109,025千円となりました。これは、買掛金が2,474千円、賞与引当金が12,830千円増加したことなどによります。

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて6,181千円減少し、171,296千円となりました。これは、長期借入金が6,250千円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて20,725千円減少し、280,321千円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて170,702千円増加し、2,335,424千円となりました。これは、四半期純損失を679,446千円計上した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ431,515千円増加したことなどによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年2月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,163,292	2,342,688
売掛金	51,871	28,883
商品及び製品	15,398	14,094
仕掛品	4,289	8,903
原材料及び貯蔵品	26,504	23,194
その他	90,454	77,429
流動資産合計	2,351,811	2,495,194
固定資産		
投資その他の資産	113,957	120,551
固定資産合計	113,957	120,551
資産合計	2,465,768	2,615,745
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,778	6,253
1年内返済予定の長期借入金	7,500	7,500
賞与引当金	4,064	16,895
その他	108,225	78,376
流動負債合計	123,569	109,025
固定負債		
長期借入金	143,750	137,500
資産除去債務	33,728	33,796
固定負債合計	177,478	171,296
負債合計	301,047	280,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,384,311	2,815,826
資本剰余金	1,363,892	1,795,407
利益剰余金	△1,606,214	△2,285,661
自己株式	△227	△227
株主資本合計	2,141,761	2,325,345
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△375
評価・換算差額等合計	—	△375
新株予約権	22,959	10,454
純資産合計	2,164,721	2,335,424
負債純資産合計	2,465,768	2,615,745

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	119,202	138,236
売上原価	52,946	59,327
売上総利益	66,256	78,908
販売費及び一般管理費		
研究開発費	390,550	454,680
その他	252,705	288,674
販売費及び一般管理費合計	643,255	743,354
営業損失(△)	△576,999	△664,445
営業外収益		
受取利息	13	230
為替差益	1,709	—
補助金収入	—	400
その他	117	43
営業外収益合計	1,840	673
営業外費用		
支払利息	575	1,550
新株発行費	11,260	3,058
為替差損	—	1,486
営業外費用合計	11,836	6,095
経常損失(△)	△586,995	△669,867
特別利益		
新株予約権戻入益	609	8,492
関係会社株式売却益	15,759	—
特別利益合計	16,369	8,492
特別損失		
減損損失	13,172	16,354
特別損失合計	13,172	16,354
税引前四半期純損失(△)	△583,798	△677,729
法人税、住民税及び事業税	712	1,717
法人税等合計	712	1,717
四半期純損失(△)	△584,510	△679,446

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ431,515千円増加しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間末における資本金は2,815,826千円、資本剰余金は1,795,407千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	5,944千円	一千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	111,403	7,799	119,202	—	119,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	111,403	7,799	119,202	—	119,202
セグメント損失(△)	△36,398	△393,718	△430,117	△146,882	△576,999

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△146,882千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては、13,172千円であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	137,018	1,217	138,236	—	138,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	137,018	1,217	138,236	—	138,236
セグメント損失(△)	△16,532	△471,055	△487,588	△176,857	△664,445

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△176,857千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生医療支援事業」セグメントにおいて308千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において16,046千円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては、16,354千円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前事業年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,163,292千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社は当第3四半期会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、同種軟骨細胞シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。